

人生の転機

Turning point



ユキリエ社長

松田 豊己

Matsuda Toyomi



当社は、『女性活躍先進企業』を経営理念に、事務職に特化したアウトソーシング事業を展開しています。私ともう1人の役員を除き、300名の社員は全て女性という、大変珍しい会社ではないかと思えます。

私は元々、アップルジャパンの出身で、30年前の社内は、女性社員が多く在籍していました。一緒に仕事をしてきた彼女らの多くは、家庭との両立はもちろん、自らの専門性を高めるための努力を惜しんでいなかったと記憶しています。

その後、外資系と日本企業の文化・社風を経験していく中で、日本企業が抱える課題とし

て、「雇用」「働き方」「ジェンダー」など、行き詰まりを迎えていることがわかってきたのです。

一方、外資系企業や上場企業で経営層となっている当時の同僚たちが口を揃えて言うのが、「日本はエンジニアが不足している」ということでした。リーマンショック以降、企業はリストラを敢行し、人材育成も手薄になった状況もあります。さらに、新しいIT技術が出てきたことにより、エンジニア不足が一層加速したと思われれます。

そうした課題に対して、私に何ができるだろうか？と考えていた時に、あるお客さまから「アップル時代に培った仕事のスキルを活用し、支援してもらえないか」とのお話をいただきました。この出会いが転機となったといえるでしょう。

アップルで活躍していた女性の、仕事の取り組み方を思い起こし、グローバルレベルの事務業務支援を事業化、当初は経験のあるIT業界から始まりまし

た。以来、徐々に製造や金融、商社など様々な業界、業種のお客さまからご依頼いただけるようになり、今があります。

また、当社社員の力量も素晴らしいものがあります。企画やプランニングなど、責任ある仕事を任せていただくことも多く、広い領域をカバーできるノウハウを身に付けています。

当社では、そのための研修に力を入れています。仕事に対する積極性や高い参画意識は、私

キルを身に付けています。

最近では、事務業務支援の枠組みを超え、女性雇用をはじめとするコンサルティングの依頼を受けるケースも多くあります。多くの企業が「ジョブ型雇用」にシフトチェンジをしていく中で、今後ますます業務の専門性は重視されていきます。そうした社会の変化に対し、当社の独自の視点で、課題を抱える「企業」と「女性」をつなぐ、会社のプラットフォームでありたいと思います。

新しい時代の、新しい会社づくり



社員とともに。松田さんともう1人の役員以外は300人の社員は全て女性だ